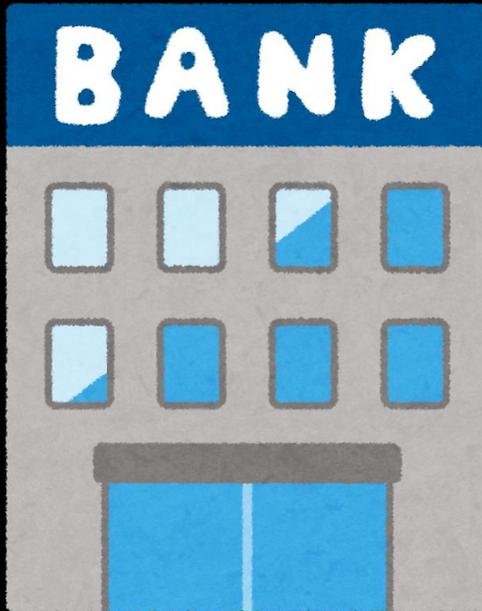


# リンダ問題(合接の誤謬)

誤解の心理学

完全解決



# リンダ問題(合接の誤謬)

## 質問

リンダは31歳、独身、率直な性格で、とても聡明である。  
大学では哲学を専攻した。  
学生時代には、差別や社会正義といった問題に深く関心を持ち、  
反核デモにも参加した。

どちらの可能性がより高いか？

- (A) リンダは銀行窓口係である。
- (B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。

名探偵がリンダ問題(合接の誤謬)を完全解決します。  
何が正しいかということだけでなく、なぜ間違えるのかという心理を解説します。  
以下がリンダ問題です。  
リンダは31歳、独身、率直な性格で、とても聡明である。大学では哲学を専攻した。  
学生時代には、差別や社会正義といった問題に深く関心を持ち、反核デモにも参加した。  
どちらの可能性がより高いか？  
(A) リンダは銀行窓口係である。  
(B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。

# リンダ問題(合接の誤謬)

## 確率

- (A) リンダは銀行窓口係である。  
(B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。  
↑ こちらの可能性が高いと答える人が多い

(B)が真なら(A)も真  
(A)が真でも(B)が真とは限らない

} (A)の方が確率が高い

合接: ( . . . ) AND ( . . . )

合接の方が確率が高いと誤解: 合接の誤謬

- (B)と答える人の心理
- (1) ヒューリスティックな判断
  - (2) 可能性の解釈違い

(B) の可能性が高いと答える人が多いようです。  
論理和(AND)が付け加えられて、狭くなった範囲が、合接です。  
(B)が真なら(A)も真ですが、(A)が真でも(B)が真とは限りません。  
すなわち、(A)の方が確率が高いのは明らかです。  
合接の方が、逆に確率が高いと誤解する現象は、合接の誤謬と呼ばれます。  
(B)と答える人には、二種類の心理が働いています。  
(1) ヒューリスティックな判断  
(2) 可能性の解釈違い

# リンダ問題(合接の誤謬)

## (1)ヒューリスティックな判断

論理を無視して、すばやく経験的な判断する心理

(A)リンダは銀行窓口係である。

(B)リンダは猫魔法使いである。

多くの人は、反射的に(A)が正解だと感じる。

説明文の内容は忘れたけど、猫だったかもしれない。

論理的に考える前に、ありがちな選択肢を重視してしまう傾向がある。

一つ目の心理、ヒューリスティックな判断について説明します。

論理を無視して、すばやく経験的な判断する心理です。

例えば、次の選択肢だとします。

(A)リンダは銀行窓口係である。

(B)リンダは猫魔法使いである。

多くの人は、反射的に(A)が正解だと感じるでしょう。

説明文の内容は忘れましたが、猫だったかもしれません。

論理的に考える前に、典型的な選択肢を重視してしまう傾向があります。

# リンダ問題(合接の誤謬)

## (2) 可能性の解釈違い

「どちらの可能性が高いか？」はさまざまな解釈ができる

- (A) リンダは銀行窓口係である。
- (B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。

「虚偽の証言が含まれている確率が小さいのはどちらか？」

(A)と答える人が多い

「より詳細に推測できて確率が高いのはどちらか？」

(B)と答える人が多い

二つ目の心理は、可能性の解釈違いです。  
「どちらの可能性が高いか？」はさまざまな解釈ができます。  
解釈が分かれなような表現に変えてみましょう。  
「虚偽の証言が含まれている確率が小さいのはどちらか？」  
これなら、(A)と答える人が多いでしょう。  
「より詳細に推測できて確率が高いのはどちらか？」  
これなら、(B)と答える人が多いでしょう。

# リンダ問題(合接の誤謬)

## 優れた推論

「可能性が高い」と「**優れた推論**」は、似た意味だと思う人は多い。

(A) リンダは人間である。

(B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。

(A) は当たり前なので、外れる確率はゼロだが、  
優れた推論だといえない。

外れる可能性があっても、より詳細に推測している (B) の方が、  
優れた推論だと感じる。

「可能性が高い」と「優れた推論」は、似た意味だと思う人は多いでしょう。

次の例ではどうでしょうか。

(A) リンダは人間である

(B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト活動に参加している

(A) は当たり前のことなので、外れる確率はゼロですが、優れた推論だといえません。

外れる可能性があっても、より詳細に推測している (B) の方が、優れた推論だと感じます。

# リンダ問題(合接の誤謬)

## 優れた推論

- (A) リンダは銀行窓口係である。
- (B) リンダは銀行窓口係で、フェミニスト運動に参加している。

銀行窓口係であることは、(A)と(B)のどちらも推測している。

(B)の方は、それに加えて、フェミニスト運動についても推測しているため、より優れた推論です。

(B)の方が外れる確率が高いですが、  
職業までを言い当てる確率なら、どちらも同じ。

元の問題で考えてみます。  
銀行窓口係であることは、(A)と(B)のどちらも推測しています。  
(B)の方は、それに加えて、フェミニスト運動についても推測しているため、より優れた推論です。  
(B)の方が外れる確率が高いですが、職業までを言い当てる確率なら、どちらも同じです。

# リンダ問題(合接の誤謬)

## 優れた推論

より詳細に推測している方が、優れた推論だと経験的に感じる。

(A)リンダの体重は、44.5kg

(B)リンダの体重は、2Xから3Xkg、もしくは、4Xら5Xkg

より詳しく推測している(A)の方が、  
優れた推論に必要な情報を掴んでいると感じる。

(B)は、外すことの許されない**捜査のプロ**の模範回答ですね。



また、より詳細に推測している方が、優れた推論だと経験的に感じる場合があります。

(A)リンダの体重は、44.5kg

(B)リンダの体重は、2Xから3Xkg、または、4Xら5Xkg

より詳しく推測している(A)の方が、優れた推論に必要な情報を掴んでいると感じます。

(B)は、外すことの許されない捜査のプロの模範回答ですね。

以上です。

# お問い合わせ先

お問い合わせは、  
こちらからお願いします。

<https://ultagi.org/>